

瑞穂の里

～ 子供たち一人一人のよさが輝く学校を目指して ～

角田市立北郷小学校

学校便り

第14号（文責：校長）

令和3年 2月26日

感謝の気持ちの伝え方

2月19日の学習参観には、保護者の皆様方に御来校いただきまして、ありがとうございました。1年のまとめに向けて学習に取り組む子供たちの様子を御覧いただけたことを嬉しく思っております。

例年、全校で行っている「6年生を送る会」ですが、今年度は学年ごとに6年生と触れ合う時間を設けることにしました。

2月9日、偶然通りかかった2年生の教室では、6年生とのお別れ会に向けて話合いが行われていました。6年生に喜んでもらうにはどんな贈り物がいいか・・・「歌」「メッセージ」「ダンス」「マジック」「劇」「クイズ」等々、たくさんのアイデアが出されています。それぞれの思いや希望も伝わってきます。ここからどのように絞り込んでいくのかなと思いながら教室を後にしました。

2月15日、6年生とのお別れ会初日・・・、2年生とのお別れ会が始まりました。宝探しや鬼ごっこで交流した後、いよいよ6年生へプレゼントをする時間です。

先日の話合いがどのようなになったのか、想像を膨らませながら進行を見守りました。まず、登場したのは「学校クイズ」です。「全部正解しないと、卒業することができません。」という問い掛けに思わず笑みがこぼれます。「北郷小の先生方は全部で何人いるでしょう？」等、短時間で答えるには難しい問題が次々に出題され、和気あいあいとした雰囲気の中で会が進んでいきました。

さらに、もう一つ、ダンスの披露がありました。「・・・やりたかったこと、やってみよう、失敗も思い出～♪」・・・リズムカルな曲に合わせて、6年生の数人も一緒に踊り楽しんでいました。2つのプレゼントを見事に演出した2年生。その姿は堂々と見えました。

後日、どのように話合いがまとまったのか確かめてみると、「クイズもダンスも両方やろう！」と提案してくれた友達がいたとのこと。二者択一ではなくどちらの思いも生かせるアイデアを思い付いたこと、それをみんなで受け入れて準備したこと、どれも学級の仲間や6年生を思うからこそその選択です。終始、明るい雰囲気の中でお別れ会が展開されたのは、みんなの思いを最大限に伝えようと一致団結して取り組んだ成果であると感じました。

言葉で感謝を伝える、手作りのプレゼントを贈る、パフォーマンスを披露する等々、今年のお別れ会は、それぞれの学年の個性や思いがよく表れていたと感じます。感謝の気持ちの伝え方はそれぞれであっても、6年生のお兄さん、お姉さんを思いながら、準備をしてきたことに変わりはありません。子供たちの思いの詰まったプレゼントはどれも甲乙付けがたく、すばらしいものばかりでした。



【1年生：手作りメダルを贈ります】



【2年生：学校クイズ出題中】



【6年生：卒業式で歌う合唱披露】